



日本共産党大田区議会議員

大竹辰治 ミニレポート

発行 大竹辰治事務所
日本共産党 区議会控室
大田区蒲田 5-13-14
電話(5744) 1 4 7 7
事務所 大田区西蒲田 5-9-12
電話(3735) 2 6 1 1
自宅 大田区東矢口 3-11-19
電話(3736) 4 2 0 2
E-mail: tootake@apricot.ocn.ne.jp
http://tootake.jcp-ota.jp

物価の高騰から区民の暮らしと営業を守る

党議員団が区長に緊急申し入れ

日本共産党大田区議団は5月10日、「物価の高騰から区民の暮らしと営業を守る対策強化を求める緊急申し入れ」を松原忠義区長宛に提出しました。

コロナ危機によって景気の低迷、生活の困難が長期に及んでいるところに、さらに食料品、光熱費、ガソリンをはじめ物価の高騰が襲いかかり、区民の暮らしと営業は深刻な打撃を受けています。

現在の物価高騰と国民生活の困難は①コロナからの経済回復に伴う世界的な需要増による国際価格の高騰、②日銀の「異次元の金融緩和」政策による円安誘導と輸入

援、社会保障の充実等々の対策が求められるところでです。
当面、区民の暮らしと営業を守るため、緊急に以下の項目につき、区として政府に要求するとともに、区長におかれても、自治体の独自措置の実施等、補正予算の編成をはじめ、対策を講じられるよう申し入れるものです。
松原区長に代わり川野副区長、齋藤企画経営部長が応対しました。申し入れ内容は左記の通りです。

物価の高騰から区民の暮らしと営業を守る対策強化を求める緊急申し入れ

1. 飲食店、運輸業、中小製造業など事業用燃油・原材料等の急騰に対して引き下げを政府に求めるとともに、区独自に支援すること。
2. 消費税減税とインボイス中止を政府に求めること。
3. コロナ対策としての低所得者への特別給付金は住民税非課税世帯に限定せず、区独自に拡大すること。
4. 事業者向けの事業復活支援金は持続化給付金並みに引き上げるよう政府に求めるとともに区独自の支援をすること。
5. 食料品の高騰の中、小中学校及び保育園の給食費について、児童・生徒の必要な栄養を確保し、保護者負担増にならないよう、財政支援を行うこと。
6. 緊急小口資金など生活福祉資金特別貸付制度利用者に対する返済の要件の緩和をすること。
7. 今年度の予算措置のうち、施設使用料、国民健康保険料など区民負担増を今からでも中止すること。

以上



区民の声は新空港線中止・見直し

都市マスタープランへのパブリックコメント

改定大田区都市計画マスタープラン素案に対するパブリックコメント（区民意見公募）の実施結果は、2021年11月17日～12月8日

日まで。募集方法は、大田区ホームページ、区報、区ツイッター等で意見募集の周知。併せて素案説明会を開催（4会場6回）。区民からの意見は、大田区ホームページからの電子申請及び都市計画課の窓口直接持参、郵送、FAXで提出となっていました。

その結果、意見総数14名44件ありましたが、そのうち新空港線については中止・見直しの意見が6件あり、賛成の意見は1件もありませんでした。

党区議団は、この間一貫して、多額の財政投入となる新空港線は、中止見直しを求めてきました。

新空港線整備は、沿線のまちづくりに与える影響も大きく、区内の東西方向の利便性の向上だけでなく、羽田空港と東京圏北西部をつなぐ広域的な交通利便性の向上を見据えた、国の交通政策審議会において「進めるべき」と答申を受けた鉄道ネットワークであり、地域の活性化をはじめ、通勤・通学における既存路線の混雑緩和や災害時の迂回ルートとしての機能を担うなど防災並びに減災等に資する事業であることから、本マスタープランにおいて、引続き重要な施策の一つとして位置付けています。

また、新空港線の軌道幅の違いに関する課題については、様々な方法で解決に向け検討していきます。

頂いたご意見は関連部署と共有し、今後の都市づくり政策の参考とさせていただきます。

新空港線は大田区の負荷が大きい割に、乗り換えなしで空港と直結する可能性が低く、大田区民へのメリットは全くない。また、先行する羽田空港アクセス線の動向も注視すべきで、現状のままで突走ると完成時に批判の嵐が起こることは明らかである。

まずは区民（特に台地部の人）が空港・臨海部へのアクセスを良くすることが第一で、広域の利便性は将来の課題であり、新空港線整備は今回の計画対象外としてはどうか。

新空港線整備については、コロナ禍を経験して、東京一極集中の課題も含め、状況が変わってきている。大きな財源も必要とすることから、都市計画としても当面は見直し期間として位置づけ、住宅地域や市街地の密集地域における、緑化面積を増やす方向へシフトすべきである。

新空港線の整備はJRが羽田空港アクセス線を計画しているような中で本当に必要性があるのか。状況をもっと把握して整備を再検討するべきではないか。

新空港線は矢口渡駅から大鳥居駅まで地下を通す計画のようだが、現在、調布市の住宅陥没事故のように、地下鉄や地下道の地上への影響が心配される事態がおきている。また、工事が始まるとトラックや工事車両の騒音でのどかな風景が台無しになり、工事が終わる頃にはまちがすっかりかわってしまう。新空港線工事はやめていただきたい。

新空港線は大田区を素通りするだけで、蒲田地区に客が増える要素にはならない。また、日本の人口が減少する上に、海外旅行者が新空港線を利用するのは限られており、必要性や費用対効果の点から大田区が莫大な費用を負担するのには反対である。蒲田駅と京急蒲田駅の間に、自動運転のバスを巡回させれば今の不便は解消され、蒲田地区の商店街にも人は減らないと思う。

また、新空港線の軌道幅の違いを、どの様に解決出来るのか具体的方法を示してほしい。

新蒲田1丁目複合施設

（愛称はカムカム新蒲田） 開設



新蒲田一丁目複合施設（愛称カムカム新蒲田）が5月5日開設し、開式が地下2階多目的室で行われました。

区民活動施設として、多目的室大（450名）、多目的室

小（30名）、集会室4ヶ所、美術室、調理室、音楽スタジオ2ヶ所があります。その他、中高ひろば、地域包括支援センター・シニアステーションが設置されています。

法律相談

顧問弁護士による法律相談です。
お気軽にご利用ください(毎月第2水曜日)

6月9日

午後1時～3時

場所 大竹辰治事務所（西蒲田大城通り）
事前にお電話くださいTel (3735) 2 6 1 1